

高輪会創立 60 周年記念式典ご案内

高輪会ニュース 3号でお伝えした、次の2大行事が大詰めを迎えています。

- ◎ 高輪会創立 60 周年記念式典開催
- ◎ 高輪会 60 年の歩みをまとめた「高輪会史」発刊

記念式典の講演には、東海大学海洋学部「根元謙次教授」に超音波を利用した海底・海底下がどのように視覚化されるのか最新の海底探査手法の紹介と、この技法を応用し『蒙古襲来の軍船発見』に至った経緯をお話ししていただきます。次頁に概要を紹介し、詳しくは当日の講演をご期待ください。

また、高輪会 60 年を一つの節目として『母校に還ろう』を合言葉に母校・恩師・同窓会員が一堂に集まり歓談していただく懇親会もあります。

詳しくは下記をご覧ください。

日 時	2012(平成 24)年 11 月 25 日 (日)
	開場：13 時 00 分～ 開式：13 時 30 分～
場 所	母校 「東海大学附属高輪台高等学校」
会 費	¥7,000 円
講 演	『海底探査と元寇軍船の発見』 東海大学 海洋学部 海洋地球科学科 理学博士 根元 謙次 教授

※会費は式典準備の都合上、同封の振込用紙にてお支払いください。
なお、当日も会費・維持会費の受付はさせていただきます
※当日ご参加出来ないが「高輪会史」「ムジカフレスカ歌集DVD」ご希望の方は下記実費にてお受けいたします。但し部数に限りがありますので早めにお申込みください。お申込みは会報に同封されている振込用紙、又は、このHPをご利用ください。HPご利用の方には振込用紙を郵送させていただきます。
□「高輪会史」¥4,000 円、□「ムジカフレスカ歌集」¥1,000 円

☆当日は多くの恩師にもお声を掛けております。

☆第 6 回定期総会で好評をいただきました「建学の歌」「逍遙歌」の入っている、ムジカフレスカ歌集DVDもお持ち帰りいただきます。

「海底探査と元寇船の発見」

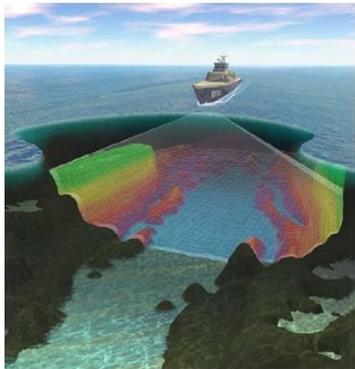
東海大学海洋学部・海洋地球科学科 理学博士 根元 謙次 教授

元寇は中世日本を震撼させた蒙古襲来の歴史として広く知られています。鎌倉時代 1274(文永 11)年および 1281(弘安 4)年、中国元王朝のフビライ汗による日本への侵攻がありました。「文永の役」では、伊万里湾北部にある鷹島とその周辺が主戦場となり、また、「弘安の役」では、鷹島沖に停泊した東路軍・江南軍あわせて軍船約 4400 隻、兵士 14 万人と言われていました。これ



までにも多くの関係遺物が伊万里湾において漁業者の網などにかかって採取されていますが、元寇の軍団の概要やその軍艦の船体については、全く不明でした。

東海大学海洋学部では琉球大学とともに伊万里湾にて、元寇の船団の発見を目的として 2005 年から 6 年間に及ぶ海底探査を実施してきました。



海底探査では、高精度・高速で海底を捉えるマルチビーム音響測深技術が使われました。また、マルチビーム音響測深とともに音波探査装置による海底下の地層の調査を実施しました。つまり、海底面だけでなく海底下の調査も行ったのです。

これ等、最新探査装置を使って海底・海底下探索を行った結果が、NHKのクローズアップ現代で取り上げられ『海底で発見！幻の軍船～730年前』のタイトルで放映されました。

編者註：番組の中では、考古学史上、第一級の発見であり今後の考古学が改纂される礎にもなると紹介されていました。

詳しくは式典当日「根元教授」の講演をお楽しみに！